

2016年12月20日

学生交流センター ランチトーク企画 報告書

ドイツ～食・文化～

今回のランチトークイベントでは、食や文化を通してドイツを知ってもらうため、ドイツ学科の太田達也教授にお話頂きました。先生が紹介してくれた「みみずのカーロ」というドイツの絵本には、子供たちに環境保護の意識が芽生える取り組みをした小学校の実話が描かれており、ドイツの環境に対する政策を知る事ができました。

また、ドイツ文化研究会等の学生に協力してもらい料理提供した人気料理の「カリーブルスト」の試食会も行いました。このカリーブルストに使用したウィンナーは、ヒノキの間伐材チップを使用して燻製にしたウィンナーです。

このチップがなぜ環境に良いのかについて、学生交流センターの学生スタッフが調べて以下の内容で発表してくれました。

「間伐材は、今まで山に放置される事が多く、山の表面を傷めたり、大雨等の災害時に、他の木をなぎ倒したりして被害が広がっていました。しかし、チップを作成するため間伐材を積極的に使用する事で、産業廃棄物として山の中に放置されていた木が廃棄されなくなり、これらの被害が無くなりました。だから環境保護につながるのです。」と。分かりやすい説明で、環境保全への理解が深まりました。

カリーブルストの試食会の後は、学生交流センターのコアグループである、Kreis（クライス）にドイツ留学体験紀を発表してもらい、最後にカルマノ学長と学生と留学生を交えたパネルディスカッションも行いました。

<実施日>

日時：2016年11月23日（水）

時間：12：45～14：00

場所：南山大学ロゴスセンター

参加人数：28名

